



## オタマジャクシを飼うには、どうしたらいいの

### オタマジャクシや卵を探す

池や小川でカエルの卵を見つけたら、卵が、水の中に入っているか、水面で空気にふれるようになっているか、葉っぱの上についているかなどをよく観察します。そして、とってきた卵を、自然の状態にできるだけ近いようにします。

水中にあった卵は水そうの水の中に入れ、水面上にあった卵は、浅い入れ物に水を少し入れて空気にふれさせ、葉っぱの上の卵は、きりふきで水気をあたえるだけにします。

オタマジャクシになったものなら、エアポンプ(水そうが大きくて、オタマジャクシの数が少なければなくてもよい)をつけた水そうに、1日以上くみ置きするか、中和剤などを入れて中和させた水道水を入れて、飼います。底にはじゃりをしき、水草も入れてやると、さらにいいでしょう。えさの残りやふんでよごれやすいので、2日おきに水そうの水を、下の半分の半分を吸い出すようにして、かえてやります。

### えさは、ゆでた菜っぱ

えさは、お店で売っているキングヨのえさや、ハウレンソウやコマツナなどをゆでて小さくきざんだものを、1日1回、あまり残らないような量をあたえます。少し大きくなったら、イトミミズやかつおぶしも、ときどきあたえましょう。

後ろ足が生えてきたら、カエルになったとき上れるように、水面から出る大きい石やブロックなどを水そうに入れて、陸を作ってやります。(監修・今泉 忠明)

